

現地視察報告

滋賀県沖島現地視察について（報告）

1. 視察日時：平成 25 年 2 月 12 日（火）
視察委員：阿比留委員、渡邊委員
目的：現行指定基準に内水面の指定基準が存在しないため、島の状況等を視察。

位置図



2. 視察結果 (概況)

- ・面積 1.52 k m²
人口 343 人（平成 22 年国勢調査）
高齢化率（平成 22 年国勢調査）41.4％
人口減少率（H12→H22）△29.0％
- ・児童・生徒数
幼稚園 2 人, 小学生 11 人, 中学生 4 人（沖島小学校調べ）
- ・堀切漁港－沖島漁港は船で約 20 分。片道 500 円。
航路数 11 便（休日 9 便）。

（産業について）

漁業が中心の島。沖島漁港には、多数の船が係留。

(医療の状況)

近江八幡市により、毎週水（木）曜日の午後、沖島診療所（公民館内に設置）へ医師派遣を行っている。

(福祉の状況)

デイサービス施設「老喜の里」。（沖島小学校近く）
介護認定「要支援」「要介護」と認定された方対象。
1日の利用定員10名。

(島の状況)

- ・島内には小学校のみであり、中学生は定期航路で本土へ通学。本土(近江八幡市内)から沖島に離島留学している3名の小学生がいる。
- ・定期航路では残業対応等の問題で、島からの通勤は困難。
- ・琵琶湖の淡水魚水揚げ量の7～8割を占めるとされ、漁協の婦人会が観光客向けに鮎寿司、淡水魚料理の弁当を販売するなど、淡水魚の食文化を支えている。
- ・ブラックバスなど外来種の駆除も行っており、琵琶湖における生態系維持に貢献している。
- ・この外来魚を利用した「よそものコロッケ」など新商品を漁協と地元寿司店で発案。沖島のみならず、市内和食店においても販売。
- ・自治会が船を購入し、運航している。また、自治会において島の振興プランを作成し、島外のボランティアを募り集落周辺の歩道整備を行うなど、自立した振興策が行われている。

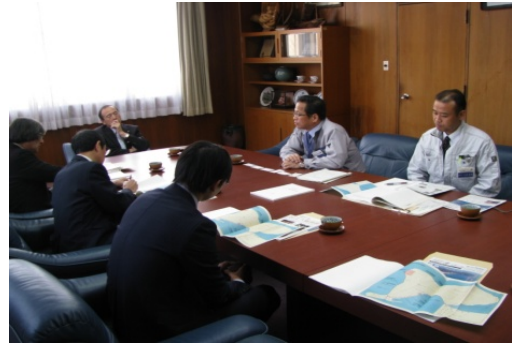
(指定に向けての地元の意向)

- ・近江八幡市は島の活性化のために離島指定を強く希望している。
- ・滋賀県は、近江八幡市の意見を聞きつつ、対応していく考え。

(指定後に予定している事業)

- ・近江八幡市としては、見晴らしの良い、かつての採石場における防災拠点を兼ねた観光施設の整備、琵琶湖をめぐる遊覧船が寄港可能な港湾の整備、島内の周回道路の整備、

また、医療、介護救急に対応すべく、ヘリポートの整備等を考えているとのこと。



近江八幡市による沖島の現状等説明（近江八幡市役所内応接室）

沖島の状況

（１）本土側港（堀切新港）



（２）沖島漁港



(3) 沖島コミュニティセンター



(4) 島内住宅地



(5) 湖畔護岸道路



(6) 治山施設



(7) 採石場跡



(8) 沖島小学校、沖島幼稚園



(9) お弁当、お土産屋、鮎寿司

